

日時 令和元年11月22日（金）5校時
 場所 3年教室
 指導者 教科担当教諭

1. 単元名 現代の民主政治と社会～政治参加と選挙～

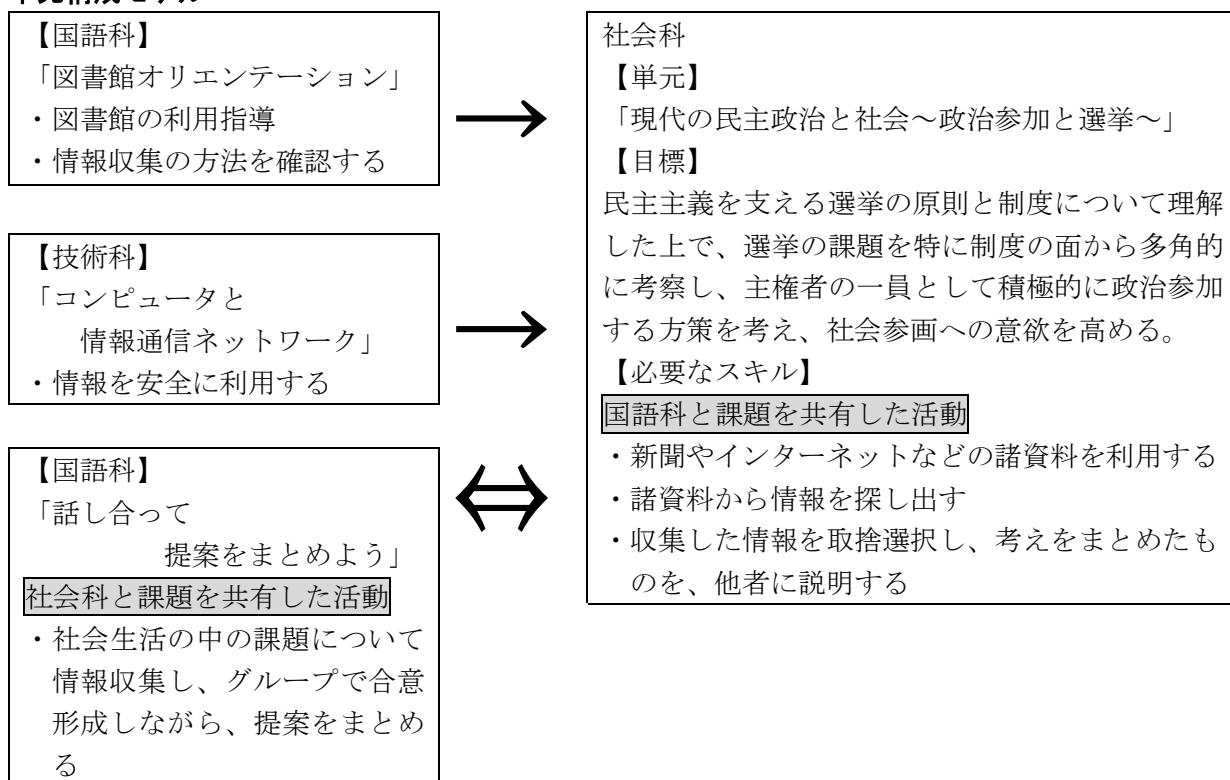
2. 単元の目標

民主主義を支える選挙の原則と現行の選挙制度について理解した上で、選挙の課題を多角的に考察し、主権者の立場で問題点を整理することによって棄権の増加をはじめとした政治への無関心の原因を探る。合わせて、自分たちが考える改善策を提案することで積極的に政治参加する方策を考え、社会参画への意欲を高める。

3. 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
・選挙についての学習を通して明らかになった政治的課題に関心を持ち、自分たちができる改善策を話し合う活動に意欲的に参加しようとしている。	・選挙制度とその課題を多角的に考察する中で、その改善策を考え、自分たちができることは何かを判断し、適切に表現している。	・図書館活用やインターネットなどから得られた具体的な事例をもとにして選挙の課題を明らかにし、適切な改善策を提案している。	・選挙の原則や選挙制度についての知識を身に付ける。 ・選挙制度をはじめとする民主政治の諸課題について理解している。

4. 単元構成モデル



5. 単元設定の理由

(1) 単元について

民主主義と平和主義は現代社会の根幹を支える基本理念であり、それについて正しく理解し考えることは、中学校の社会科学学習の総決算の一つであると考えます。本単元は、民主政治を推進していくための選挙をはじめとする国民の政治参加と、選挙結果や政権運営などに多大な影響を与えるマスメディアを通して形成される世論の形成、政党の役割や政党政治の意味などについて考え、適切に表現できる技能を養うことを目的としています。そうした中で、現代社会の大きな課題の一つでもある「棄権の増加（投票率の低下）」に代表されるような、特に若い世代が政治に対して無関心になっている原因を多面的・多角的に探りながら、前向きに政治に参画していく方策を探ることで、生徒の政治に対する関心を高め、積極的に政治に関わろうとする意欲を育成することは、主権者教育を推進していく上で非常に重要で意義深いことと考える。

前時までに、①『1票の格差』や『合区制』などの選挙制度（から生じる問題） ②『マスメディア』による報道（の問題） ③『被選挙権』をはじめとする選挙への立候補の現状と課題（為政者の問題） ④「(特に)若い世代による『政治参加』の方法」の四つを、議会制民主主義や選挙の原則、現行の選挙制度などの学習を通して考えられる政治に対する関心が低下する理由と仮定した。さらに、それらの政治的課題の実態を図書館の本や新聞、インターネットなどから情報収集し、その改善点を考えまとめた後、小グループで意見交換しながらスローガンを作成することで、政治に対する関心を高め、問題に対する理解を深めていった。

本時では、四つの政治的課題について「こうすれば投票率も上がり、(特に若い世代の)政治に対する関心が高まる」というテーマで、①～④の問題それぞれについて小グループから出された質問に対する回答と合わせて調べ学習の成果を発表した後、再度小グループに分かれて、若い世代が積極的に政治参加していくためのスローガンを作成し、政治に対する関心を高めるとともに自分たちの考えをわかりやすく表現し、発信する力を養うことを目的としている。

(2) 生徒について (略)

(3) 指導にあたって

生徒の実態から、生徒が難しいと考えがちな政治についての学習を身近なものに実感できるよう、司書教諭や学校司書と連携し、新聞やインターネットなどからリアルタイムで得られる資料も学習に取り入れながら、生徒の問題に対する関心・意欲を高めていくようにしたい。また、図書館の中から問題解決につながる資料を探し出すことは、思考力・判断力・表現力を養うためにも、本が有効な手段となることに気付くためにも効果的であると考えます。

同時に、生徒が調べた情報を整理し、考えを深めるために、本単元では、数種類の思考ツールを適切に取り入れていきたいと考えている。

今回は国語科の「話し合って提案をまとめよう」という単元の学習と関係づけ、調べ学習から提案する過程を国語科で行い、引き続き、それを元に若者の政治参加への方法について考え、提案する学習を社会科で行う計画を立てた。教科を横断して学びを連続させることで、効果的・効率的な展開を可能にするとともに、それぞれの教科担当者の強みを活かした指導が可能になると考える。

本時では、選挙権が拡大し人権に対する意識が高まっていく歴史や、選挙制度の変遷過程などについて考えてきたこれまでの学習も踏まえながら、投票率の低下などが示す政治に対する関心の低下が、民主主義の存続、発展にとって歴史的にも大きな問題であることをまず認識させたい。その上で、自分たちが挙げた政治的課題を自分たちでどう改善していくことができるか、前向きな方策を提案することで、政治参加することの喜びや楽しさを実感できるように指導を展開していきたい。合わせて、主権者としての自覚を高めるために、小グループでの話し合い活動を通して、中学生年代で、特に若い世代の積極的な政治参加を促すためのスローガ

ンを作成し、情報発信することは、生徒のみならず、より多くの人々が政治に対する関心を高め
ていくために有効な手立てであると考えている。

6. 単元計画と評価計画

単 元 (第3章)「現代の民主政治と社会」2. 政治参加と選挙								
「政治に対する関心を高め、特に若い世代が積極的に政治参加できるようにするにはどうしたらよいだろうか？」 単元を貫く問い	次	時間	ねらい・学習活動 等	評価の観点				主な評価規準 (評価方法)
				関	思	技	知	
	第一次 (関心を高める)	2 時間	(社会科①②) 日本の選挙制度について考える。 (1)「選挙の4原則」から、主権者の立場で選挙制度の課題について考える。 (2)「選挙制度」の変遷を確認する中で、制度の問題点を探る。 (3)(1)(2)で出てきた課題や問題点を班で意見交換し「選挙の課題」としてまとめる。	○			○	選挙の原則と選挙制度を正しく理解することができる。 (発言・ワークシート記述・テスト) 選挙の課題や選挙制度の問題点について積極的に考え発表することができる。 (発言内容・ワークシート記述)
	第二次 (発表する)	1 時間	(社会科③) 前時でまとめた課題や問題点を班ごとにクラス全体に発表する。 (1)類似する意見を整理し、「選挙の課題」について、「棄権の増加(=投票率の低下)」を頭とした「思考ツール(クラゲチャート)」にまとめる。 (例) ○ 投票率の低下 ↑ ・若者の無関心 ・(選挙以外の)政治参加の方法 ・選挙制度の改善(「一票の格差」の問題等) ・立候補者の減少 ・マスコミの報道 (2)(1)で挙げた「選挙の課題」について、その「現状と対策」について調べる分担を決める(班の4人が、一人一つずつ調べる)。	○	○			選挙制度の問題点が棄権の増加や若い世代の政治に対する無関心の原因になっていないか、筋道を立てて考えることができる。 (思考ツール記述・発言内容) 調査する具体的な課題について、自分の関心をもとに意欲的な態度で決めることができる。 (行動観察)
	第三次 (調べる)	(2 時間)	(国語科①②) 図書館活用 ○「話し合って提案をまとめよう」 同じテーマについて調べるメンバー(7人)で、各テーマの「現状」について資料をもとに調べ「問題点」と「改善点」をまとめる(思考ツール「フィッシュボーンチャート」を活用)。	—	—	—	—	

第四次 (意見交換する)	1 時間	<p>(社会科④)</p> <p>第三次で調べてまとめたことについて、特に「改善策」を各班に持ち帰り、発表する。</p> <p>(例) ◎「若者の政治参加」は、こうすれば増える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○政治参加にはこんな方法がある。 ○選挙制度を改めれば投票率が上がる。 ○立候補者を増やす方法。 ○マスメディアの関わり方。 <p>↓</p> <p>質問を受け付ける(「思考ツール」(PMI)を活用)。</p>	○	○		<p>調査したテーマについて、分かりやすくまとめ、発表することができる。</p> <p>(発言内容・行動観察)</p> <p>それぞれの発表について前向きな態度で聞き、積極的に質問することができる。</p> <p>(思考ツール記述・発言内容)</p>
第五次 (提言する)	2 時間 (本時2/2)	<p>(社会科⑤) 図書館活用</p> <p>新聞や本などの資料をもとにして調べた現状、その問題点及び改善策と各班から出された質問に対する回答をまとめ、最後に諸課題の解決と積極的な政治参加に向かう決意をスローガンに表す。</p> <p>(社会科⑥) 本時</p> <p>(1) 社会科⑤でまとめたことをクラス全体に発表する。</p> <p>(2) 発表された提言とスローガンを「思考ツール(スクエアチャート)」にまとめ、よいと思ったスローガンを参考にして、自分が考えたスローガンを修正する。</p> <p>(3) 四つの提言とそれをもとに作成した各自のスローガンを4人班で出し合い、最も良いと考えるスローガンとそれに込められた願いをまとめる。</p> <p>(4) ホワイトボードに、話し合いの内容をまとめて、全体に発表する。</p>	○	○	○	<p>資料をもとに、全体への提言を分かりやすくまとめた上で、スローガン作成に対して積極的に関わることができる。</p> <p>(行動観察)</p> <p>メモをもとに適切な質問や建設的な意見を発表することができる。</p> <p>(思考ツール・振り返りシート記述・発言内容)</p> <p>スローガン作成等を通して民主政治について考え、課題に対し自分の意見を表現することができる。</p> <p>(思考ツール・振り返りシート記述)</p>
第六次 (まとめる)	1 時間	<p>(社会科⑦)</p> <p>(1) スローガンを完成させて、それに込められた願いと合わせて画用紙に清書し、発信する。</p> <p>(2) 民主主義の諸課題について個人でまとめ理解する。</p>			○	<p>選挙の原則と選挙制度及びそこから生ずる諸課題を整理し、理解を深めることができる。</p> <p>(ワークシート記述・テスト)</p>

7. 本時の学習（6／7時間）

（1）本時のねらい

- 選挙をはじめとする政治に関する諸課題について関心を深め、意欲的に話し合い活動に参加することができる。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**
- 調べた情報や話し合いをもとにした政治の諸課題とそれに対する改善策の提言、政治参加への意欲を込めたスローガンの作成を通して、民主政治について考察し、自分の意見を表現することができる。 **【社会的な思考・判断・表現】**

（2）本時の展開

時間	学習活動	教師の支援	☆評価 ○教材
導入 (5分)	○前時までの学習を振り返り、本時の「めあて」を提示する。 本時のめあて	選挙の課題である投票率の低下（棄権の増加）について、その原因として考えられることを提示する。	○「クラゲチャート」で、原因として挙げられたことを示す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「若い世代が積極的に政治参加し、世の中をよりよく変えていくためのスローガンを考えることができる。」</p> </div>			
展開 (20分)	○①から④のテーマについて、各グループの提言を発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①「なぜ若い世代が政治に関心になるのか、『選挙制度』や『一票の格差』の問題などを改善する」ことで関心が高まらないか提言する。</p> <p>②『世論』に対して大きな影響を与える『マスメディア』の報道のあり方についての改善策」を提言する。</p> <p>③「(選挙以外の)若い世代の『政治参加』について、実例を参考にしながらよりよい方策を提言する。</p> <p>④『政治家』自身の問題について、若い世代が積極的に立候補できるようになる」ための手立てなどを提言する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善策を提言する際に、第四次で各班に持ち帰って発表した際に出された質問に対する回答も合わせてするように促す。 ・提言に対しての質問も改めて受け付けさせる。 ・政治参加の意欲を高めるために作成したスローガンをそれに込めた思いと合わせて発表させる。 ・提言にあたって自分たちが参考にした本や新聞、インターネットから取り出した資料なども発表させる。 ・各提言の最後に自分たちの思いを『スローガン』で示させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○①～④のそれぞれの発表について、マグネットシートで発表のテーマを提示する。 ○発表のときに、キーワードを提示させる。 ○提言の内容をメモするスクエアチャートを準備する。 <p>☆選挙をはじめとする政治に関する諸課題について関心を深め、意欲的に話し合い活動に参加することができる。 【関心・意欲・態度】</p>

時間	学習活動	教師の支援	☆評価 ○教材
まとめ (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提言をもとに、4人班で各自の考えを発表し、班として一番良いと思うスローガンを選ぶ。 ○ 続けて、各班で若い世代が積極的に政治参加できるようになるためのスローガンを作成し、選んだ理由と合わせて発表できるように準備する。 ○ ホワイトボードに一番良かったと考えるスローガンを書き、選択した理由を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに四つの提言をまとめた「スクエアチャート」をもとに、どのスローガンがよかったか各自で考えさせる。 ○ 自分が考えたスローガンに、他のスローガンのよい点を加えて、自分の思いがよりよく伝わるようスローガンを修正させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクエアチャート ☆調べた情報や話し合いをもとにした政治の諸課題とそれに対する改善策の提言、政治参加への意欲を込めたスローガンの作成を通して、民主政治について考察し、自分の意見を表現することができる。 【思考・判断・表現】
振り返り (5分)	本時の振り返りをする。	○「振り返りシート」に今日のめあてが達成されたか記録する。	○振り返りシート

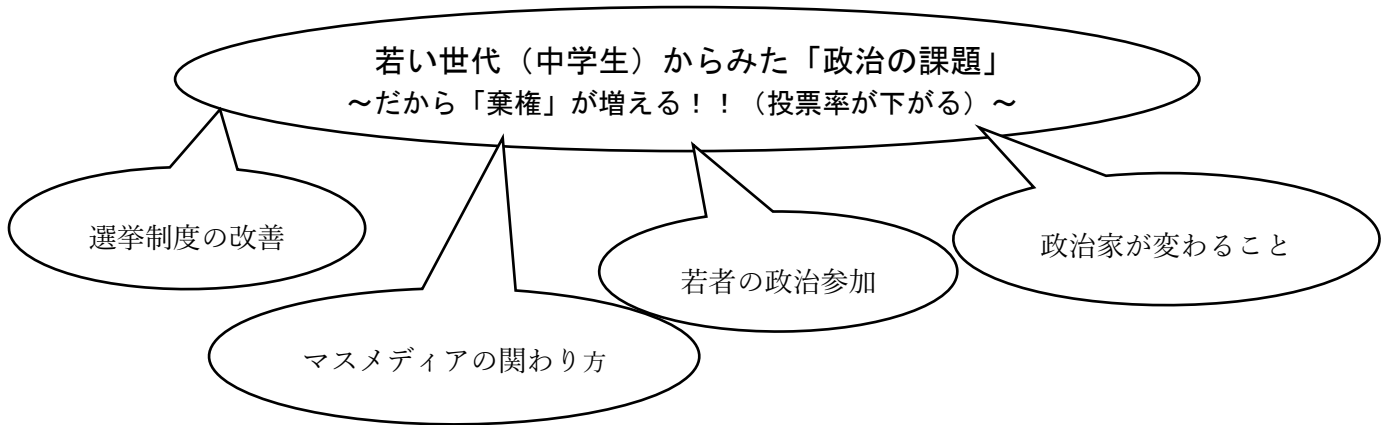
(3) 本時の評価

評価の観点	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
社会的 事象への 関心・ 意欲・態 度	選挙をはじめとする政治に関する諸課題の解決に向けて、積極的に質問し、スローガン作成に向けて建設的な意見を出すことができる。	話し合い活動への参加を通して、選挙をはじめとする政治に関する諸課題について関心を持ち、前向きな態度でスローガンを作成することができる。	政治に関する諸課題について、自分の生活と関連させながら考えを持つことで、関心が高まるように助言する。
社会的 な思考・ 判断・表 現	選挙制度や世論、マスメディアなど、さまざまな視点を関連づけて考察し、改善策やスローガンにまとめることで、民主政治について考えを深めている。	選挙制度や世論、マスメディアなどの視点から考察し、改善策やスローガンにまとめることで、現代社会における民主政治の諸課題について自分なりの考えをもっている。	これまでの授業で考えたことや、発表の要点のメモをもとに、現代社会の民主政治に対して自分なりの考えがもてるように助言する。

8. 授業研究の視点

- 図書館で調べたり話し合ったりしてきたことは、本時のねらいを達成する上で効果的であったか。
- 積極的に政治に参加しようとする思いが伝わるようなスローガンの作成ができているか。

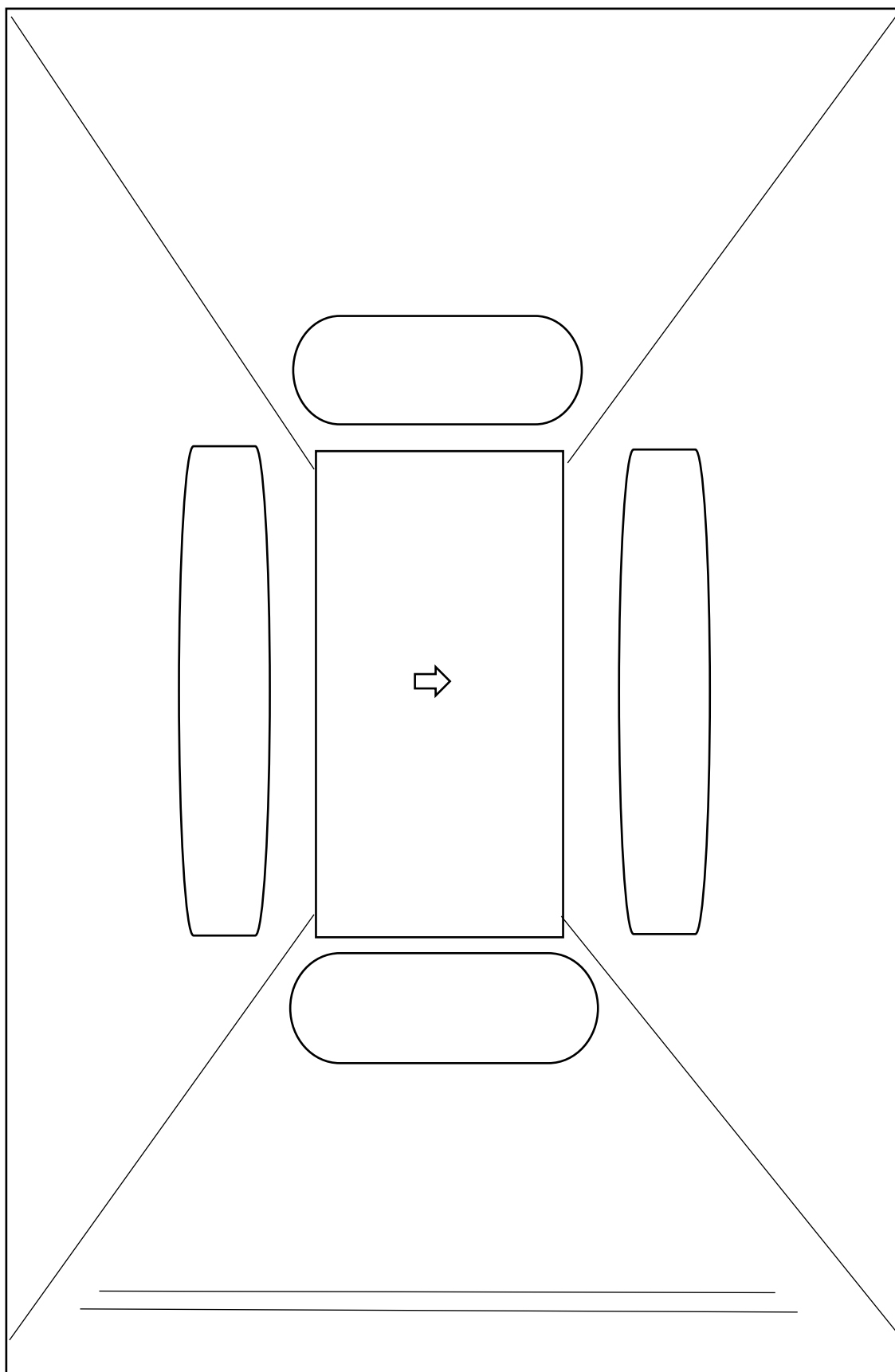
「若者の政治参加」



☆「4つのテーマ」について、各グループ（4人または3人）で…

- ① 「現状」と「問題点」を別紙に箇条書きでまとめる。（国語Ⅰ）
- ② ①でまとめたことに対する「対策」を「こうすれば政治に関する関心も高まり、若者の政治参加も増える」という表現でまとめる。（国語Ⅱ）
- ③ まとめたことを、(元の) 4人班に持ち帰り発表し、質問や意見を受け付ける。（社会科Ⅰ）
- ④ ③で出された質問や意見をもとに、「わたし(たち)の世直し論」というテーマで、400字程度の原稿にまとめ、発表の準備をする。（社会科Ⅱ）
- ⑤ ④でまとめた原稿を発表する。（本番Ⅰ-i）
- ⑥ 発表をもとに、各自で若い世代が積極的に政治に参加するための「スローガン」を作成し、4人班で理由とともにまとめる。（本番Ⅰ-ii）

スクエアチャート



振り返りシート()月()日()曜()校時

3年()組()番 氏名 ()

☆ 話し合い活動を通して、現代の民主政治の課題について前向きに考え、世の中をよりよく変えていくためのスローガン作りにつなげることができましたか。

①	提言を聞きながら、現代の民主政治の課題について前向きに考えることができた。	A ・ B ・ C ・ D ()
②	自分の思いをスローガンに込めようとすることができた。	A ・ B ・ C ・ D ()

(感想～一言コメント～)

選挙制度や世論、マスメディアなどのもつ課題から考察した改善策をスローガンにまとめることで、民主政治とその課題に対しての考えを深めることができる。【思考・判断・表現】

メモを取りながら提言の内容を把握し、問題に対する関心を高めながら、適切な質問や建設的な意見を発表することができる。【関心・意欲・態度】

9. 研究協議の概要

参加者	校内 17名、校外 18名 計 35名
授業及び 研究協議 の概要	選挙制度を題材とした調べ学習と、それを根拠として意見を述べるプレゼンテーションについて、社会科と国語科との教科横断的な取組として、授業を行った。学校司書が莫大な量の新聞を揃え、記事を探しやすいように付箋を付けるなどのきめ細かな準備を整えた。思考ツールを用いて、考えをまとめたり可視化したりして、選挙という難しい題材に、生徒が取り組みやすい工夫がなされていた。